

宇久島・寺島（長崎県）



長崎県佐世保市に属し、五島列島最北端の島。平家盛伝説が残り五島藩の始祖として語り継がれています。人口は約1,900人で和牛畜産や漁業が主な産業。島内には幼稚園、小中高が島内に1校ずつあり、診療所、スーパー等生活において不便のない島です。

宇久島紹介HP(宇久町観光協会)
<https://www.ukujima.com/>

博多港

野母船フェリー 太古	約4時間10分 (直行)	宇久島
九州商船フェリー いのり	約2時間25分 (直行)	
九州商船高速船 シークイーン びっくあーす2号	約1時間55分 (経由あり)	



市営交通船
「みつしま」

約10分

寺島

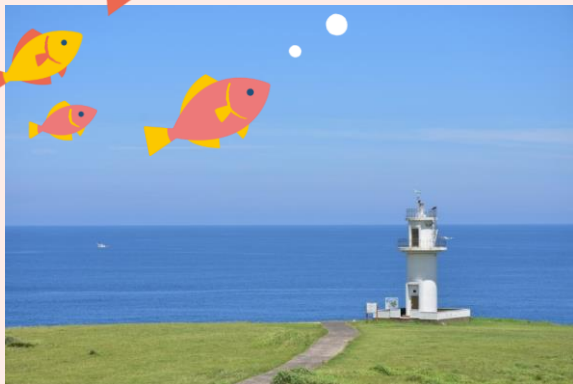
交通・アクセス情報

博多港よりフェリーで約3時間50分

佐世保港より高速船で1時間20分（直行の場合）

佐世保港よりフェリーで約2時間20分（直行の場合）

観光情報



対馬瀬灯台

宇久島最北端の灯台で、宇久島野方地区に広がる大草原に佇む白い姿がフォトジェニックなスポットです。テレビCMやメディア取材も多い、宇久島を代表する景勝地です。

西の水平線に沈むサンセットも絶景

住所：長崎県佐世保市宇久町野方地区
電話番号：0959-57-3935（宇久町観光協会）
料金：無料
営業時間：8：30～17：30（窓口）
HP：<https://www.ukujima.com/>
駐車場の有無：有

大浜海水浴場

全長約600mの砂浜が広がり、通称「宇久ブルー」と呼ばれる海の色は長崎県下屈指の透明度を誇り、すぐ隣にはキャンプ場もあります。

近年では海水浴の他に、クリアカヤック体験が人気です。

住所：長崎県佐世保市宇久町平地区
電話番号：0959-57-3935（宇久町観光協会）
料金：無料（体験等はお問い合わせください）
営業時間：8：30～17：30（窓口）
HP：<https://www.ukujima.com/>
駐車場の有無：有



観光情報



寺島



ポットホール（寺島）

宇久島から約3.5 km離れた属島である寺島にあります。

岩の裂け目に入った石が、激しい波の影響で転がりできた円形、筒状の穴で

長崎県指定の天然記念物となっています。

住所：長崎県佐世保市宇久町寺島地区

電話番号：0959-57-3935（宇久町観光協会）

料金：無料

営業時間：8：30～17：30（窓口）

HP：<https://www.ukujima.com/>



おすすめの宿



「また来ます」って
言いたくなる、そんな民泊。



宇久島体験民泊

宇久島の田舎暮らしを体験しよう！

宇久島体験民泊では地元の民家を宿泊施設として提供しており、昔ながらの島暮らしを体験することができます。

漁師を営まれている家庭に泊まって魚さばき体験や、和牛畜産農家に泊まって仔牛にミルクやりなど、民家それぞれの特色が出た宿泊体験です。

食事は宇久島ならではの食材を使用した郷土料理がメイン。旬の魚や野菜がボリューム満点で楽しめます。

チェックイン後はぜひ民泊先近辺を散策してみてください。宇久島の景色はどこか懐かしく、風光明媚に映ることと思います。

※民泊はそのご家庭のご家族と一緒に宿泊するホームステイタイプの宿泊スタイルです。

宇久島グリーン・ツーリズム振興会（窓口）

住所：長崎県佐世保市宇久町平2524-23

電話番号：0959-57-3935

料金：9,900円/人※2名以上より受付

営業時間：8：30～17：30（窓口）

HP：<https://www.ukujima.com/minpaku/>



島のグルメ



宇久島どんぶり鯛めし御膳



宇久島しゃぶしゃぶ鯛めし御膳

宇久島鯛めし

宇久島名産のレンコダイを活用した2種類の新ご当地グルメ。季節に合わせたお刺身や煮付けもあり、新鮮な海の幸を楽しめます。

どんぶり鯛めしは飲食店、しゃぶしゃぶ鯛めしは宿泊施設で食べることができます。

宇久島鯛めし推進協議会（宇久町観光協会内）

住所：佐世保市宇久町平2524-23

電話番号：0959-57-3935

料金：どんぶり鯛めし1500円

しゃぶしゃぶ鯛めし2500円

HP：<https://www.ukujima.com/>

鯨カツカレー

古くは江戸時代から捕鯨が行われていた宇久島。鯨を食べる文化が今でも残っています。鯨カツカレーは鯨のカツだけでなく、ルーにも鯨が隠し味で入っており、昔懐かしい味が人気の宇久を代表する家庭料理です。

かつちゃん

住所：佐世保市宇久町平268-1

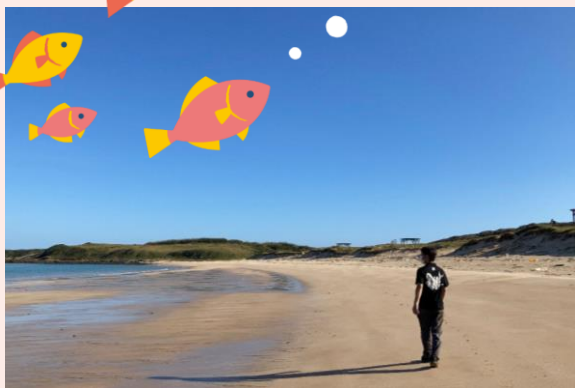
電話番号：0959-43-4150

営業時間：10：00～14：00 17：00～22：00

駐車場の有無：有



島での暮らし



身近にある大自然

普段の生活の中に溶け込んでいる大自然。仕事が終わったら砂浜でウォーキング。普段は感じられない砂を踏む感覚が、この時を彩ります。

晴れた休日なら大きなアコウの木の下で森林浴。たった5分の滞在でも、木漏れ日を浴びた記憶が日常に活力をもたらしてくれる感覚があります。

この2ヶ所だけを見ても、季節や天候、時間帯で見え方が変わるので、毎回楽しませてくれます。

島民限定のウニ漁

5～8月の大潮時期にウニ漁が島民限定で解禁されます。（有料）多くの島民が海に出向きます。中には仕事を休んで行かれる方も。女性も多く見かけます。島全体のイベントです。

獲れるウニの大半はムラサキウニ。岩をひっくり返したりすると見つかります。とても重労働です。加えて、獲った後のウニ捌きも大変。でも夢中になってしまう魅力があります。そして、苦労の後に味わうウニの味は格別です。

